

Why “an apple”?

問

なぜ現代英語では **“a apple”* ではなく、*“an apple”* なのか？ 不定冠詞 *“a”* と *“an”* の使い分けについて記述し、説明しなさい。

共時的な視点からの解答

1. 基礎レベルの解答
2. 中級レベルの解答
3. 上級レベルの解答

1. 基礎レベルの解答

「アイウエオ」に相当する英語の
<a, i, u, e, o> を母音字という。
母音字で始まる名詞の前では“a”では
なく“an”を用いる。

例：*an apple, an island, an uncle, an elephant, an orange, etc.*

しかし . . .

- 母音字以外で始まる文字の前でも “an” が用いられる例: ex. *an hour, an MP, an X-ray*
- 母音字で始まる文字の前でも “a” が用いられる例: ex. *a one-off, a unicorn, a usage*
- 続く語は名詞とは限らない: ex. *an intelligent student, an awfully handsome boy, an on-the-spot repair*

2. 中級レベルの解答

母音字ではなく母音で始まる語（名詞とは限らない）の前では“a”ではなく“an”を用いる。

例：[ən 'aʊə], [ən ,ɛm'pi:], [ən 'ɛks,rei]
(but [ə ,wʌn'ɔ:f], [ə 'ju:ni,kəʊn], [ə 'ju:sɪdʒ])

しかし・・・

この解答では，“a” と “an” の使い分けの分布はほぼ適切に記述されているが，なぜそのような分布となっているのかの説明が欠けている．

3. 上級レベルの解答

母音で始まる語の前では“a”ではなく“an”を用いる。その理由は、英語は母音連続を嫌う傾向があるからである。“apple”は母音 [æ] で始まるので、不定冠詞“a”をつけると [ə 'æpl] となり、母音連続が生じる。この母音連続を避けるために音便として [n] をあいだに挿入し、[ən 'æpl] とするのである。

しかし・・・

- なぜ挿入音は [n] でなければならないのか
- 母音連続を嫌うということであれば, “two apples” でも [tu: 'æplz] のように母音連続が生じるのだから, **“twon apples”* となる理屈ではないか
- 同様に, “my apple” も **“myn apples”* となる理屈ではないか

通時的な視点を導入すると・・・

そもそも「母音で始まる語の前で“an”を用いる (= n を挿入する)」という発想そのものを考え直す必要がある。

通時的な視点からの解答

“apple” に “a” ではなく “an” が用いられることは、なんら説明を要する現象ではない。なぜならば、「一つの」を意味する不定冠詞 “a(n)” は、歴史的には “one” の弱形に過ぎず、 n をもともと含んでいたからである。“an apple” は “one apple” と同じく、まったく説明を要さない規則的な用法である。

むしろ “a pineapple” のように n のつかない “a” の起源と用法のほうが説明を要する．「なぜ母音の前に n がついたのか」のではなく「なぜ子音の前で n が落ちたのか」という問いのほうが，通時的には有意義な質問である．

確かに「母音連続を避けるために“a”に n を加える」という共時的な解釈は，記述としては経済的である．デフォルトは“a”であり，母音の前でのみ例外が発生すると仮定するほうが，例外の発生率を低く抑えられ，記述として効率がよい．

逆に，通時的な視点に従い，デフォルトは“an”であり，子音の前で例外が発生すると仮定すると，例外のほうが多くなってしまい，記述として効率は悪い．しかし，“an”が語源的な形態であり，その後 n が落ちることで“a”が生じたという歴史的経過の価値は重い．

“mine” と “my” の関係も同じで , “mine” が語源的な形態であり , 後になって子音の前で *n* が落ちて “my” が生じた . 実際 , 近代英語期まで “mine apple” vs. “my pineapple” のような分布の対立があった .

結論

共時的視点と通時的視点のどちらがより「正しいか」を問うよりも、両視点を持ち合わせることで、素朴な問題に新たな光を当てられ、問題を深く理解できるようになることが重要である。